

第25回小山田桜台団地祭が8月22日と23日に開催され商店街の売上が過去最高の2日間でしたが、22日と23日の団地祭終了後の状況は、小山田桜台団地居住者として大変憂慮すべき事態が発生していました。



22日の団地祭終了後、3つのグループが別々の場所に不法改造と思われるオートバイを囲み、全く帰る素振りを見せない為に110番通報で出動したパトカーの警察官の指導により翌朝2時30分に最後のグループが団地外に走り去りました。その後には空き缶などゴミが散乱し足の踏み場もない状況が残り

住民有志4人で掃除をした結果20kg以上のゴミを回収する事になりました。

23日は団地祭が終了する前から、前日を上回るバイクと車が集まり、終了から程なく70人以上の集団が商店街に広がった為に、110番通報で駆けつけた2台のパトカーと駐在所のミニパトが加わり5人の警察官が対応した結果、夜11時30分に団地外に移動しました。翌朝5時過ぎまでパトロールと清掃を行った結果10kg前後のゴミを回収しました。

以後9月9日まで忠生交番の協力と住民有志による団地センター周辺のパトロールと清掃の巡回を明け方まで行った結果、ゴミも1kgを切る程度の回収になり明らかに変化した事を感じられる様になりました。しかし住民の関心が薄れば元の状況に戻ってしまう事は明白な現実です。住民協力の継続が事態を好転させる事だにご理解下さい。

今回のパトロールでの武器は**110番と竹箒と視線**です。竹箒とゴミ袋を持って清掃する姿が、暗黙の抑止効果を持つ事は防犯カメラによる抑止効果と相容れるものであり、23日団地祭終了時に商店街を通行する事に危険を感じ、迂回をして帰宅をせざるを得なかった状況を考慮すれば、各管理組合理事会は、このような危険な環境を変える責任と義務があると思います。

パトロール清掃を通して特に感じた事は、商店街通路に置かれた。夜間の自動販売機が一種の溜まり場を構成している事です。朝、空き缶とゴミが散乱している場所は自動販売機周辺が殆どで、バイクの通行を可能にしている状況と併せて、現在改善に向けた対策の検討を始めています。



小山田桜台まちづくり協議会は、谷戸池公園を中心とした小山田桜台団地に穏やかな景色を取り戻したいとの思いから、町田市と都市再生機構とで地区計画への移行を進めて参りました。今回の事態に際し町田警察に協力を求め環境問題も含めた活動を行っています。